



## 「成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)に対する新規テラーメイド治療」

### ■期待される成果

分子診断と標的治療薬による体系化されたATL治療方法の確立  
・遺伝子変異に基づくテラーメイド治療の実現

■想定される実用化の時期 2017年頃医師主導臨床試験実施予定

### ■シーズの内容

・京都大学・宮崎大学によって見出されたATLの新規治療標的となりうるドライバー遺伝子群及びこれらを選択的かつ強力に阻害することを可能とする武田薬品工業の化合物群

### ■代表機関・課題リーダー

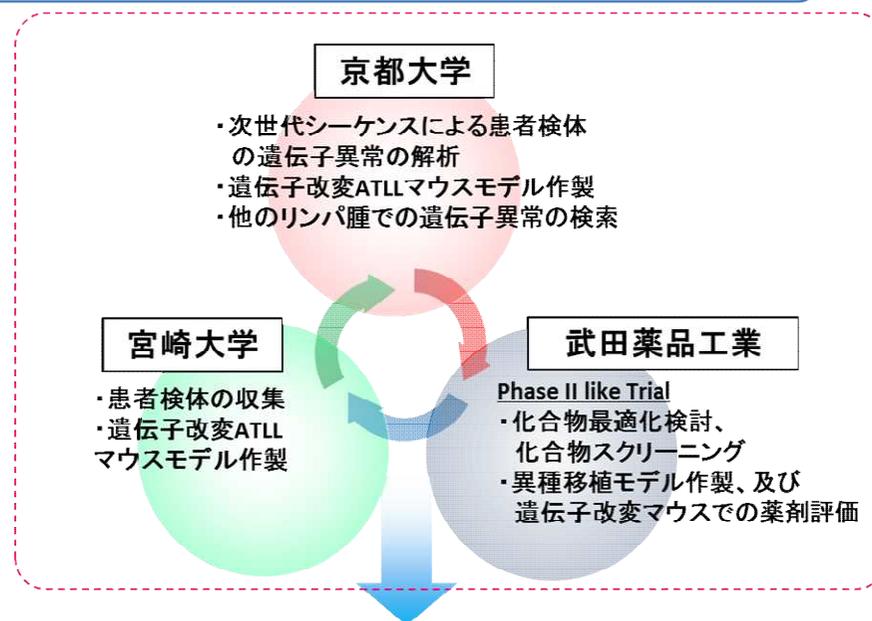
京都大学大学院医学研究科  
腫瘍生物学教授 小川 誠司

### ■共同研究機関

宮崎大学、武田薬品工業(株)

### ■実施期間

平成27年10月～平成30年3月



・ATLLの遺伝子変異集積経路を標的とする化合物の創生

・ATLL遺伝子異常に基づく病態モデルの作成と候補化合物の検証